



たたかいはまだ続きます。

相手のスキをついたのか、アジンがいきなりとびかかります。と同時に、強烈なパンチを相手の頭にあげ、その不意打ちで相手はあおむけにたおれました。

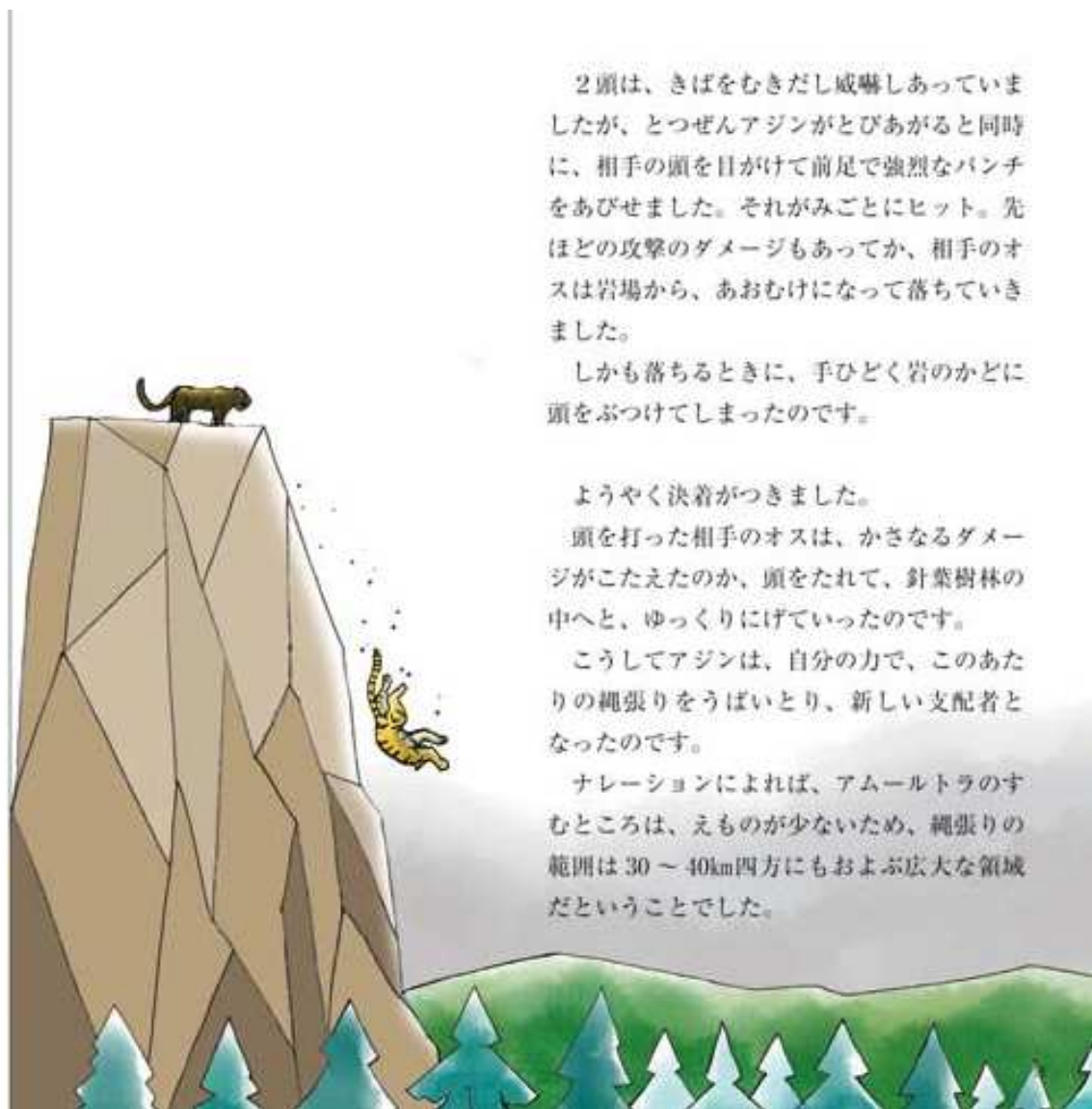
アジンはチャンスとばかりに相手に馬乗りになると、頭を目掛けて両前足でパンチを連打しました。相手は反撃することもできず、防戦するだけ。まるでサンドバッグのように打たれっばなしです。

勝負あったかと思われた、そのときです。相手は体を丸めて防戦しつつ、後ろ足をかかえこむと、勢いをつけてアジンの顔を目掛けてけりあげたのです。

その一撃には、さすがのアジンもたまたま、いっしゅんひるんでしまいます。そのスキに相手のオスは体を入れかえ、ピンチをのがれました。

しかし、まだ勝負が決まったわけではありません。

たがいに牽制しあっているうちに、たたかいの舞台は岩場の上に着きました。



2頭は、きばをむきだし威嚇しあっていたましたが、とつぜんアジンがとびあがると同時に、相手の頭を目掛けて前足で強烈なパンチをあげました。それがみごとにヒット。先ほどの攻撃のダメージもあってか、相手のオスは岩場から、あおむけになって落ちていきました。

しかも落ちるときに、手ひどく岩のかどに頭をぶつけてしまったのです。

ようやく決着がつかしました。

頭を打った相手のオスは、かさなるダメージがこたえたのか、頭をたれて、針葉樹林の中へと、ゆっくりにげていったのです。

こうしてアジンは、自分の力で、このあたりの縄張りをうばいとり、新しい支配者となったのです。

ナレーションによれば、アムールトラのすむところは、えものが少ないため、縄張りの範囲は30～40km四方にもおよぶ広大な領域だということでした。